

令和4年度 すくすくウォッチ

わくわく問題



問題をよく読んで、よく考えて答えを書いてね。

©2014 大阪府もずやん

答えは記号を選んだり、文章だけでなく図や絵をかいたりすることもあるよ。

答えが1つではない問題もあるので、思ったとおりかくといいよ！

気をつけること

1. 解答はすべて、わくわく問題 解答用紙に書きましょう。
2. 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（またはシャープペンシル）を使い、濃く、はっきりと書きましょう。消すときは消しゴムできれいに消しましょう。また、解答欄からはみ出さないように書きましょう。
3. 解答を選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を下の塗りつぶしの見本のように、濃く、しっかりと塗りつぶしましょう。

塗りつぶしの見本 	悪い例 薄い	 丸で囲む	 小さい	 線 など
--------------	---------------	----------	---------	----------

4. 解答用紙のオモテとウラ両方の「児童記入欄」に、組、出席番号を書き、オモテの「児童記入欄」のマーク欄を黒く塗りつぶしましょう。
5. 解答時間のめやすは40分ですが、もう少し頑張りたい人は10分延ばすことができるので、先生に伝えてください。

問題は、次のページからはじまります。

1 あかねさんたちは、大阪湾をテーマに調べたことを壁新聞にまとめるために、わりつけと記事を考えています。

大阪湾新聞

5月10日
5年1組2班

豊かな海 大阪湾

昔、大阪湾は、たくさんの魚がとれる海だったので、「魚(な)の庭」と呼ばれていました。それをちぎめた「魚庭(なにわ)」から、大阪のことを「なにわ」というようになったという説があります。

今も大阪湾では、イワシの仲間や、シラス(ほとんどがカタクチイワシの子ども)がたくさんとれます。それ以外にも、アジやヒラメ、サワラなどの魚もとれます。そんな豊かな海、大阪湾をみんなに知ってもらいたいと思います。

1

「魚の庭」を守る取り組み
『栽培漁業』

「栽培漁業ってなに？」

「キジハタの栽培漁業」

豊かな海で
あり続けるために

「海のごみ問題」

「五年生のみんなに」

(1) あかねさんたちは、「豊かな海 大阪湾」の部分の記事について話し合っています。

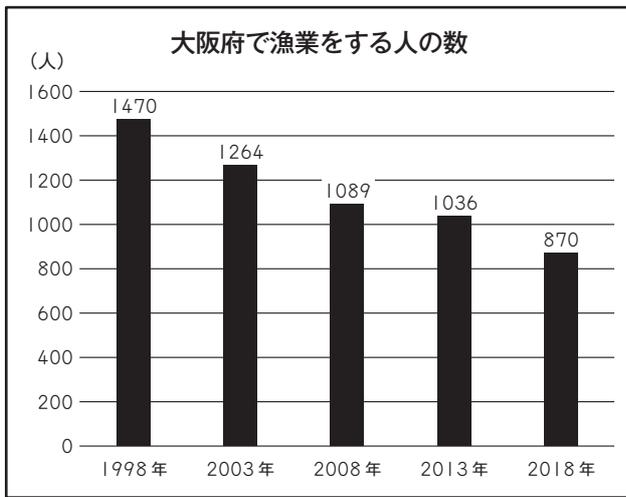
記事の ① の部分には、資料を入れるといいんじゃないかな。



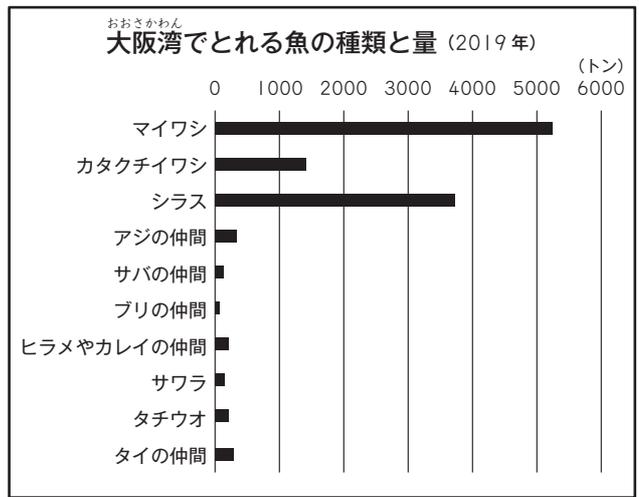
そうだね。記事の内容がよくわかる資料を入れるといいね。

問い 「豊かな海 大阪湾」の記事の ① の部分に入れる資料として、最もふさわしいものを、次の資料アからエの中から1つ選びましょう。

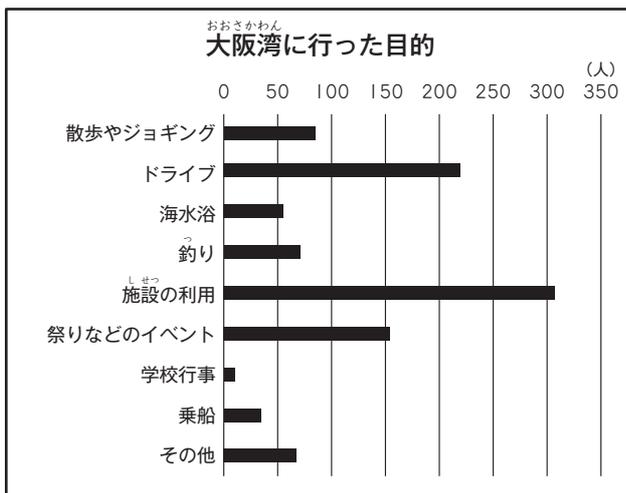
【資料ア】



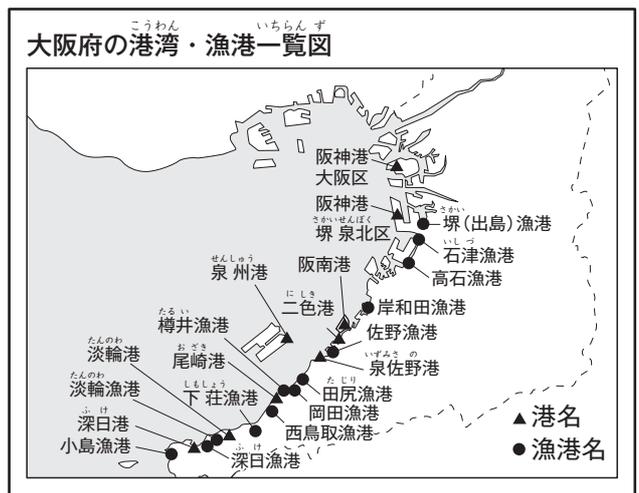
【資料イ】



【資料ウ】



【資料エ】



(2) あかねさんたちは、^{かべ}壁新聞の「魚の庭」を守る取り組み『^{さいばい}栽培漁業』の部分の記事について、次のようにまとめようとしています。

「魚の庭」を守る取り組み
『^{さいばい}栽培漁業』

大阪湾では、魚をとるだけでなく、増やす取り組みもしています。その一つが栽培漁業です。

「栽培漁業ってなに？」

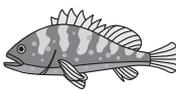
人が、魚や貝を卵からかえして、少し大きくなつてから川や海に放流し、自然の中で育つたものをとる漁業のことです。

「^{さいばい}栽培漁業」

大阪湾では、一九九〇年には多くのキジハタがとれていました。しかし、一九九五年には、ほとんどとれなくなりました。

その後、

記事



キジハタ



資料

大阪湾

【大阪湾でとれたキジハタの量と栽培漁業で放流したキジハタの数の変化】

年	とれた量 (kg)	放流した数 (ひき)
1990	2800	0
1995	0	0
2000	100	0
2005	200	10000
2010	500	20000
2015	2200	80000
2019	3000	100000

(【地方独立行政法人】大阪府立環境農林水産総合研究所の資料により作成)

【キジハタの栽培漁業】の部分の記事は、この資料のグラフからわかることを書くといいね。



あかね

問い 資料からわかることをもとに、栽培漁業の効果がわかるように、「キジハタのとれた量」と「放流した数」という2つの言葉を使って、【キジハタの栽培漁業】の部分の記事の続きを書きましょう。

(3) あかねさんたちは、調べた資料しりょうの中から、海のごみ問題について書かれた【リーフレット】をもとに、「豊かな海であり続けるために」の部分のゆた記事を書こうと考えています。

【リーフレット】

海に流れていくごみ

レジャーで出たごみ

おおさかわん 大阪湾では、プラスチックごみがひょうりゅう 漂流ごみ全体の約8割を占めています。

ほうそうざい 食品包装材
ぶくろ レジ袋
べつとる ペットボトル

14% 33% 53%

その他プラスチック

おおさかわん ひょうりゅう 大阪湾に漂流するごみ(人工物)の種類 (平成27年度環境省調査より)

流れ着いたごみだらけの海岸

す 街でのポイ捨て

つばり 釣り針のついた釣り糸

細かいしゅうくなると回収もむずかしくなります!

海のプラスチックごみは細くだかく砕かれてマイクロプラスチック*になります。
*マイクロプラスチックとは、5mm以下のとても小さなプラスチックごみのことです。

ちやくせつ 直接海に捨てられたごみだけでなく、街中や山の中で不用意すに捨てられたごみも、雨や風で流されて、川から海へと運ばれてしまいます。

海ごみ・マイクロプラスチックが海の環境や生態系を破壊します。

ごみが打ち上げられた海岸

あみ から 網が絡まったオットセイ

海の生物がマイクロプラスチックをえさ まちが 餌と間違えて食べることで、吸着きゅうちやくした化学物質ぶつしつが取り込まれ、食物連鎖しょくもつれんさを経て、生態系せいたいけいに影響えいじょうを与あたえることが心配されています。

(大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課の資料により作成)

豊かな海で

あり続けるために

【海のごみ問題】

大阪湾には、いろいろなごみが流れてきています。

ごみが海に流れていくことで、

などの問題が起きています。

海のごみ問題の解決には、私たち一人ひとりが考えて行動する必要があります。

【五年生のみんなに】

記事

問い 【リーフレット】をよく読んで、海のごみ問題を1つ考え、【海のごみ問題】の  の部分にあてはまる記事を書きましょう。

また、【五年生のみんなに】の部分には、豊かな海をごみから守るために、学年のみんなに呼びかける記事を書きます。あなたなら、どんなことを呼びかけますか。呼びかける記事を書きましょう。

- 2 たかしさんは、プレートの命令に従って自動で走るミニカーのコースを作って遊ぼうとしています。次の【説明書】には、ミニカーの進み方が書かれています。

【説明書】ミニカーの進み方

ミニカーは、スイッチを入れると次のように進みます。

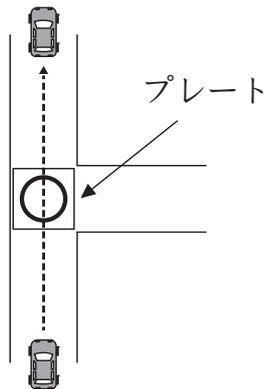
- ミニカーは前に進み、後ろには進みません。



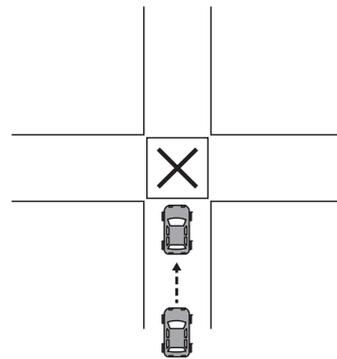
- コース上のプレートの種類に従って、次のように進みます。

プレートの種類：○，×，□，△の4種類

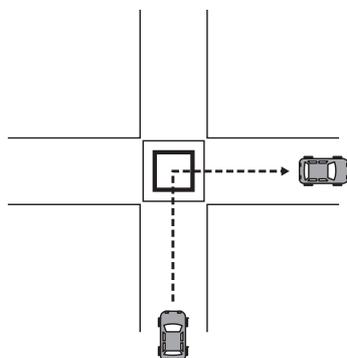
プレートのマークが○なら
曲がらずまっすぐ進む



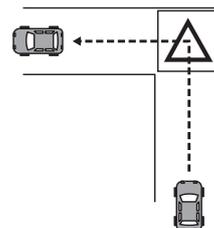
プレートのマークが×なら
プレートの手前で止まる



プレートのマークが□なら
プレートで右に曲がる



プレートのマークが△なら
プレートで左に曲がる



※プレートのマークの向きはミニカーの進み方に関係ありません。

※コース上の交差点や曲がり角には必ずプレートを置きます。

- (1) **問い** たかしさんは、下の図のスタートの位置でミニカーのスイッチを入れ
 ★の位置でミニカーを停止させるコースを考えています。次の【条件】
 に従って、ミニカーが進むコースを1つ考え、空欄□部分にあてはまる
 プレートのマークを1つずつ書きましょう。

【条件】

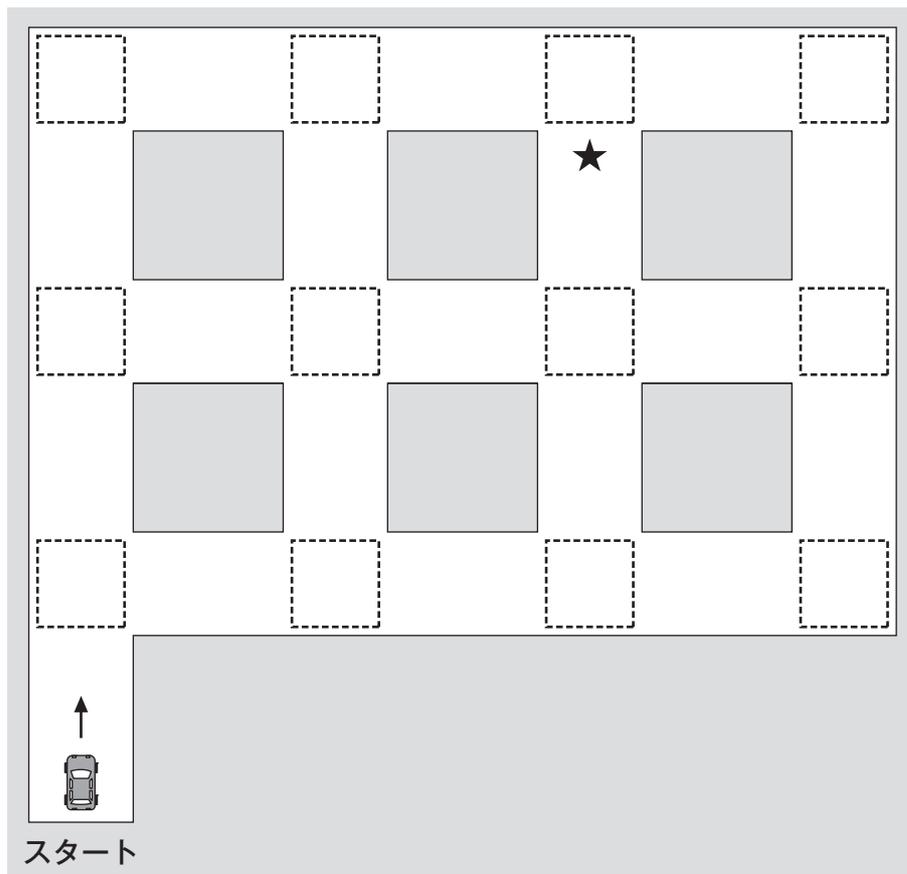
次のプレートをすべて使うこと

○ … 2枚

× □ △ … それぞれ1枚ずつ

※解答は、**解答用紙**に書きましょう。

図



- (2) たかしさんは、ミニカーで遊んだあと、実際に人が使うため開発が進む「自動で動く車」について調べ、次の資料1を見つけました。

資料1 【「自動で動く車」の分類について】

「自動で動く車」は、運転の一部を車が助けてくれる「運転を支援する車」と、すべての運転を車が行う「自動運転車」の大きく2つに分かれます。

		内 容
自動で動く車	運転を支援する車	<p>アクセル※、ブレーキ、ハンドル操作のうち、一つまたは、複数を車が行う。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の車にぶつかりそうなときにブレーキ操作を自動で行う。 ・高速道路で、車線の中央を走るようにハンドル操作を自動で行う。 ・高速道路で、一定の速さで走るようにアクセル操作を自動で行う。
	自動運転車	<p>すべての運転を車が行う。</p> <p>ただし、高速道路など特定の場所でしか自動運転ができないなどの条件がある車もある。</p>

※アクセル…ペダルをふむと車が加速する装置。

次に、たかしさんは、「自動で動く車」が日本でどのくらい作られているのかを調べ、次の資料2を見つけました。

資料2 【日本で一年間に生産される「自動で動く車」の台数】

	2015年	2019年	2025年 (予想)	2030年 (予想)
運転を 支援する車	265万台	535万台	886万台	756万台
自動運転車	0台	0台	4万台	83万台

(富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査」により作成)

問い 資料1, 資料2からわかることとして正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

ア 「自動で動く車」は、2015年には生産されていない。

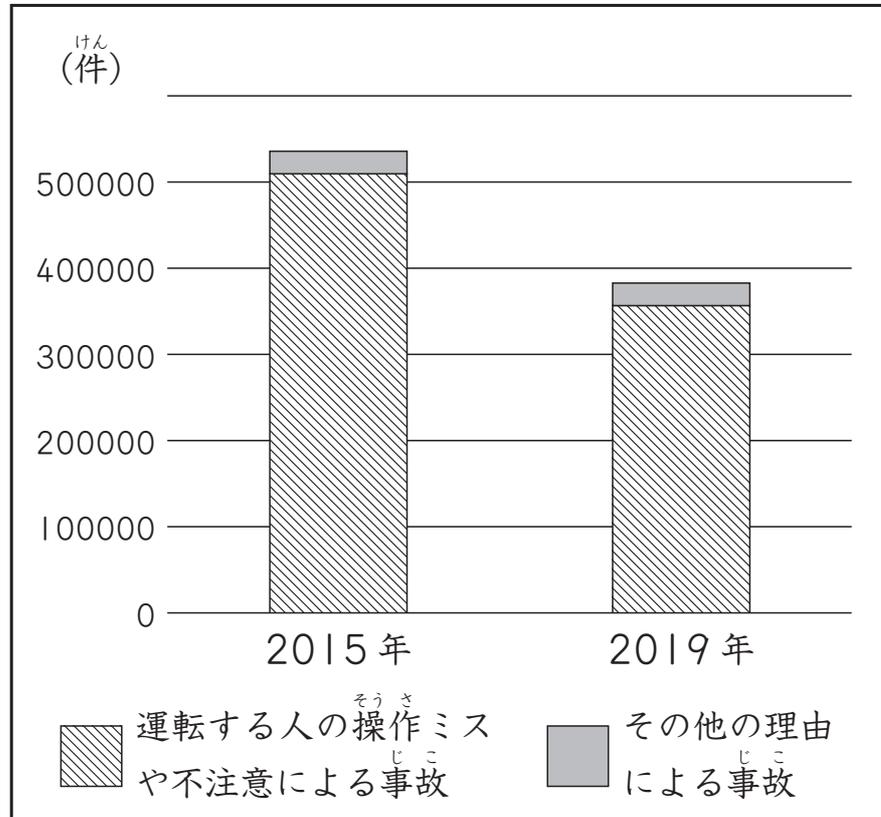
イ 「自動で動く車」の生産台数は、2019年と比べると2030年は、304万台増えることが予想される。

ウ 「運転を支援する車」の生産台数は、2015年と比べると2030年は、3倍以上増えると予想される。

エ 2025年と2030年の予想生産台数を比べると、「運転を支援する車」は増えるが、「自動運転車」は減る。

(3) たかしさんは、「自動で動く車」の開発がなぜ進められているのかを調べ、次の資料3を見つけました。

資料3 【日本で起きた交通事故の数】



(警察庁交通局の資料により作成)



たかし

資料1, 資料2, 資料3から考えると、日本で「自動で動く車」が増えていけば、交通事故の数がさらに減るかもしれないな。

問い たかしさんが、____部のよう^{しりょう}に考えたわけを、資料1, 資料2, 資料3をもとに考えて書きま^{しりょう}しょう。

問題は、次のページにも続きます。

③ 児童会のまことさんたちは、学校生活をよりよくするために、みんなに気をつけてもらいたいことを全校集会で伝えることにしました。その内容を考えるために、学校生活の中で気になることをそれぞれ出してもらい、下の【表】に整理しました。

【表】 学校生活の中で気になること

名前	気になること
まこと	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、「おはよう」とあいさつしても返してくれない ・教室でボールを投げている人がいる
リリアン	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会の後、「さようなら」を言う人が少ない ・ろう下にぞうきんが落ちている
けんた	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう下を走っている ・学級のボールが乱暴<small>らんぼう</small>に使われてパンクしていた
さとみ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ来たお客さんに「こんにちは」と言わない ・休けい時間に使ったボールを決められた場所<small>もと</small>に戻していない
ひかり	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のロッカーからランドセルが落ちている ・図書室の本に落書きがされていた



まこと

【表】 学校生活の中で気になることを見ると、出てきた意見は4つに分けられそうだね。

じゃあ、4つに分けてみて、そこから伝えたいことを考えようよ。



リリアン

まことさんたちは、出された意見を4つに分け、そこから考えた【伝えたいこと】を次のようにまとめました。

【伝えたいこと】

①	あいさつをしよう
②	片づけ ^{かた} をしよう
③	みんなのものを大事に使おう
④	<input type="text"/>

(1) **問い** 【伝えたいこと】の④ の中に入るふさわしい言葉を考えて書きましょう。

(2) まことさんたちは、学校生活をよりよくするために【伝えたいこと】を、全校集会でどのように伝えるかを考えています。



まこと

例えば、「あいさつをしよう。」と言うだけでは、みんなにうまく伝わらないね。どう伝えたらいいかな。

あいさつをしてほしい理由を伝えるといいんじゃないかな。「あいさつをすると、自然に笑顔えがおになり、学校みんなが仲良くなれる気がします。だから、あいさつをするようにしましょう。」と伝えるのはどうかな。



リリアン



まこと

そうだね。学校生活をよりよくするために、なぜ気をつけてもらいたいのか、理由も一緒いっしょに伝えよう。

問い あなたなら、学校生活をよりよくするために前のページにある【伝えたいこと】の②または③のどちらを全校集会で伝えますか。番号を1つ選びましょう。また、まことさんたちの会話を参考に、全校集会でみんなに伝える言葉を書きましょう。

- (3) **問い** 今度は、あなたが生活の中で気になることを1つ書きましょう。
- また、あなたが考えた、気になることをどのようにして解決しよう
と考えますか。解決^{かいけつ}するために取り組んでみたいことを書きましょう。

これで、わくわく問題は終わりです。

